**申請書類記入上の注意（保健医療学部）**

□ **全般的事項**

1.　記入にあたっては、指定様式にワープロ等の活字で記入する。

2.　様式は、学内HPからダウンロード可。（SMSNET＞管理組織＞総務部人事課＞教員の方＞教員人事関連書式）

3.　注意事項を良く読み、指示に沿って記入すること。

**提出先、添付書類**

1.書類は学部長迄提出して下さい

※公募は、保健医療学部事務室へ提出すること。

2.添付書類

1）医師免許証の写（又は国家資格免許証の写）

2）学位記の写

3）保険医登録票の写

□ **教員人事書類 確認シート（1ページ目）**

学内の申請者（学科長）が記入する。

　　□ **推薦状**

自由書式。推薦者は必ず押印又は直筆で署名する。

□ **履歴書（様式1）**

1.「年」は西暦とし、和暦を（　）で記入する。

2.「年齢欄」は作成日現在の年齢を記入する。

3.「学歴欄」は高等学校卒業以降、大学入学卒業、大学院入学修了等の学歴とする。

4.「職歴」は大学卒業以後を順次記入し、所属・職名・職位等についても記入。尚、各職歴については始期及び終期を明確にし、現職については「現在に至る」と記入する。（海外留学、国内留学を含む）

5.「学位」は学位名、授与大学、学位記番号、取得年月日を記入する。

6.「免許・資格」は免許名、登録番号、取得年月日、資格は各種認定資格名、取得年月日を記入する。

7. 学会及び社会における活動等、実績と現在の状況を記入する。

1）加入学会名

2）学会、研究会等の役職名（理事・評議員・監事等）。学術雑誌の編集委員等。

3）官公庁から委託された委員会名及び役職名等。

8. 学内在籍者の場合は現在の職位を記載する。（例：教育員、研究主任、外来医長）

* **就任後の抱負（教育、研究活動、診療など）（様式2）**

採用・昇格後の抱負を漠然と記すのではなく、申請者がこれ迄、どのように教育・研究・診療にかかわり、どのような成果を上げ、今後それをどのように繋げて行くか、全体の流れが明確となるように記す。例えば、プレゼンテ－ション等で発表するように申請者自身の言葉で、エビデンス等を併用し、教育・研究・診療のどの業績の根拠がそれに該当するか等を細かくアピールして行く。

* **教育活動実績（様式3）、研究活動実績（様式4）、診療活動実績（様式5）、運営管理活動実績（様式6）**

学内からの昇格者は、委員会名を記載し、いつから担当しているか具体的に記載する。

学外からの応募者は、準じる箇所へ記載する。

* **その他の実績（様式7）**

行政への貢献、賞、罰、兼業状況等、該当のある場合は記載する。

* **研究業績数一覧（様式8-1）**
* **研究業績目録（様式8-2～8-8）**

研究業績目録は「学位論文」「原著論文」「著書」「総説」「症例報告（事例報告）」「その他」「学会発表」に区別し、その区分毎に英文・和文を分けて、直近のものから西暦順に番号を振って記入する。本人氏名にはアンダーラインをつける。なお、投稿中や投稿予定のものは含まない。

該当しないものは、「なし」と明記する。

★学位論文（様式8-2）

博士論文、修士論文に分けて記載する。Thesisの場合、その旨を明記する。

★原著論文（様式8-3）

ピアレビューを受けた研究結果を報告する論文。速報・短報を含む。意見を述べた手紙形式の記事等は、「その他」（様式9-7）に記す。症例報告は様式9-6に記載する。主要論文10編の番号に○を付し、別刷を添付する。Corresponding authorである場合、番号に◎を付す。

★著書（様式8-4）

単著・共著及び分担執筆で共著の場合は全著者名、分担執筆の場合は編集者（代表者1名）を記入。翻訳は「その他」（様式9-7）に記載する。

★総説（様式8-5）

総説論文は、その分野の事項に関する概要、あるいは研究の動向・展望等がまとめられているもの。ピアレビューを受けたものは、番号に○を付す。

★症例報告（事例報告）（様式8-6）

症例報告（事例報告）は、査読制度のある学会機関雑誌等において臨床例を報告したもの。

★その他について（様式8-7）

ピアレビューを受けない学術論文や依頼原稿、手紙形式の記事・意見等、上記以外のものを記入する。

★学会発表（特別講演、シンポジウム、一般発表）（様式8-8）

学会における発表で、特別講演、シンポジウム、一般発表等を項目ごとに、国際学会と国内学会に分け、それぞれ開催年月日順（直近のものから古いものの順）に記載する。なお、一般発表は代表的なものを20編程度記載する。

様式1

各項目の記入法については、「申請書類記入上の注意」を参照のこと。

履歴書

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | ふりがな　　　さいたま　　たろう | | 性別 | 生年月日（年齢は作成日） | | | 顔写真  4×3 |
| 氏名　　　 埼 玉　太 郎 | | 男･女 | 1969（昭和44）年12月28日  （53歳） | | |
| 現住所 | 〒350-1241  埼玉県日高市山根1397-1  電話番号：042-123-4567 | | | 出身地 | ・道・府・県  東京 | |
| E-mail | ○○○○＠saitama-med.ac.jp | | | | | 学内在籍者の場合（教育、研究）  職位：教育員、研究主任 | |
| 現職 | 埼玉医科大学保健医療学部 ○○科 准教授 | | | | |
| 学歴  （高等学校卒業以降より記入のこと） | 1988（昭和63）年3月  1989（平成 元）年4月  1995（平成 7）年3月  1995（平成 7）年4月  1999（平成11）年3月 | ○○高等学校卒業   * ○大学保健医療学部看護学科入学 * ○大学保健医療学部看護学科卒業 * ○大学大学院保健衛生学研究科○○系専攻入学   同上 修了 | | | | | |
| 職歴  （職名，地位等も記入のこと） | 1995（平成 7）年5月 1日  1997（平成 9）年4月30日  1997（平成 9）年5月 1日  1998（平成10）年3月30日  2002（平成14）年4月 1日  2004（平成16）年3月31日  2004（平成16）年4月 1日  2006（平成18）年6月30日  2006（平成18）年7月1日  2009（平成21）年3月31日  2009（平成21）年4月 1日  2015（平成27）年4月 1日 | * ○大学医学部附属病院 循環器内科病棟　看護師   同上 退職  医療法人○○会○○中央病院 5階病棟　看護師 主任  同上 退職  株式会社○○ 研究開発部 研究課 主任  同上 退職  米国 ○○大学研究員 （○○学）  帰国  学校法人○○専門学校 ○○科 教務主任  同上 退職  埼玉医科大学保健医療学部 ○○学 講師  埼玉医科大学保健医療学部 ○○科 准教授  現在に至る | | | | | |
| 学位 | 博士（医学）　　（○○大学　甲○○○号）　　1999（平成11）年5月15日取得 | | | | | | |
| 免許・資格 | 看護師免許　第○○○○○号 取得年月日 平成○○年○月○日  保健師免許　第○○○○○号 取得年月日 平成○○年○月○日  臨床検査技師免許　第○○○○○号 取得年月日 平成○○年○月○日 | | | | | | |
| 学会及び社会における現在の活動等 | 日本○○○○学会 正会員  日本○○○○学会 正会員  日本○○○○学会 評議員  日本○○○○学会 理事  厚生労働省○○○委員会 委員 | | | | | | |

上記の通り相違ありません。

（令和　　　）年　　　月　　　日

　　　　　　　　署名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

推薦状

自由書式

推薦者は必ず押印又は直筆で署名する。

教授審査の場合は2名からの推薦状を添付すること。

（①上司、➁施設・機関の長、関連学会の役職者からのもの）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（令和　　　）年　　　月　　　日

所属機関名等

所属機関職位等

推薦者氏名　　　 　　　　　 　　　　　㊞

様式2

（氏名　埼　玉　太　郎　）

|  |
| --- |
| 就任後の抱負（教育、研究活動、診療など）  採用・昇格後の抱負を漠然と記すのではなく、申請者がこれ迄、どのように教育・研究・診療にかかわり、どのような成果を上げ、今後それをどのように繋げて行くか、全体の流れが明確となるように記す。例えば、プレゼンテ－ション等で発表するように申請者自身の言葉で、エビデンス等を併用し、教育・研究・診療のどの業績の根拠がそれに該当するか等を細かくアピールして行く。 |

様式3

様式3、4、5、6：

学内からの昇格者は、委員会名を記載し、いつから担当しているか具体的に記載する。

学外からの応募者は、準じる箇所へ記載する。

（氏名　埼　玉　太　郎　）

教育活動実績

|  |
| --- |
| １．担当した講義、演習および実習  2019年度　3年生講義　3コマ（1コマ○○分）  　2020年度　1年生○○実習　週1回　半日  2020年度　○○法人××専門学校　○○学科2年生　基礎○○学　2コマ（1コマ○○分）  ２．作成した教科書、教材  　〇〇大学2018年前期××演習Ⅲ　2018年4月  〇〇教育の実践と課題　××出版　2019年8月  ３．試験問題の作成、試験監督および評価者としての活動  2018年度　卒業試験　3題  　2019年度　3年生定期試験　20題  　2019年度　卒業試験　試験監督  　2020年度　○○試験　評価者  ４．入学試験（試験問題の作成、試験監督、面接委員）  　2018年度　面接委員、小論文採点委員  　2019年度　試験問題作成　1題  ５．国家試験対策  　2020年度　国家試験対策模擬試験の企画運営  　2020年度　模擬試験監督  ６．学生指導および課外活動など  　2019年度　1年生担任  　2018年度～陸上部顧問  ７．教育業績評価表ポイント（過去3年間、学内者のみ）  2020年度××ポイント、2021年度××ポイント、2022年度××ポイント  ８．学外教育活動  　学生○○県人会　顧問  2018年度　市民公開講座「○○の病気にならないためには」　演者  ９．その他  （ない場合は「なし」と記載する） |

様式4

（氏名　埼　玉　太　郎　）

研究活動実績

|  |
| --- |
| １.研究ポイント（過去3年間、学内者のみ）  2020年度 ×ポイント、2021年度 ×ポイント、2022年度 カテゴリーA×ポイント、カテゴリーB×ポイント  ２．公的研究費の獲得状況(代表、分担)  2016年度　厚生労働省○○○○○疾患研究委託費 　　　　　　　　（分担） ※ 100万円  ○○○○○○○○○○○○の研究  2017年度～2019年度　文部科学省科学研究費一般研究C （代表） 350万円  ○○○○○○○○○○○○○の研究  2019年度～2021年度　文部科学省科学研究費一般研究B （代表） 1,480万円  ○○○○○○○○○○○○○の研究  ※分担の場合は、本人に分配された金額と研究代表者名を記入すること。  ３．その他の研究費の獲得状況(代表、分担)  2016年度　日本○○財団 研究助成金 　　　　　　　　　 （代表） 100万円  ○○○○○○○○○○について  2017年度　○○学内○○グラント 　　　　　　　　　　　（代表） 50万円  ○○○○○○○○○○○の研究  ４．特許・実用新案の取得状況  発明の名称・出願人・特願番号（特許番号）・出願日（成立日）を明記すること。  ５．科学研究費の応募歴  2011年度～2015年度　文部科学省科学研究費一般研究C  ６．その他  （ない場合は「なし」と記載する） |

様式5

（氏名　埼　玉　太　郎　）

診療活動実績

|  |
| --- |
| １．外来診療  ○×大学医学部附属病院　週1日（午前及び午後）　1日平均30人  ２．病棟診療  ○×大学医学部附属病院　週2日　8時から病棟回診、週1回　当直  ３．手術  ○○術　術者20件、指導的助手10件、助手30件  2017.01.15　○○術　術者  2017.01.17　××術　指導的助手  　…  ４．専門とする疾患の診療  ○○疾患を中心に、年間150-200名の新規患者の診療を行っている。  ５．外来及び病棟の管理  ○○科病棟医長として30床の病床管理  ６．研修医等の指導  ○○科ローテーションの研修医指導を行っている。  ７．リスクマネージメント  リスクマネージャーとして、インシデントがあれば報告するよう医療スタッフに指導を行っている。  ８．その他  （ない場合は「なし」と記載する） |

主たる診療疾患対象とその内容を上記に従い記述する。

様式6

（氏名　埼　玉　太　郎　）

運営管理（校務を含む）活動実績

|  |
| --- |
| １．学内の教育関連委員会等の活動  2016～現在　学務委員  2019年度～2020年度　臨床実習ワーキンググループ委員  ２．入試業務（入試委員会、入試実施委員会等）  2020年入試委員会　委員  ３．教育ワークショップ／指導医講習会への参加・指導  2017年第○回教育ワークショップ参加、タスクフォース  2019年○月○日ACLS講座　講師  ４．学内の研究関連委員会等の活動  2020年度～2022年度　中央研究施設運営委員会、特許委員会  ５．学内・病院内の診療関連委員会等の活動（臨床系のみ）  2012年度～2015年度 手術部運営委員会、医療安全対策委員会委員  2016年度～2019年度 リスクマネージャーとして医療安全を行った。  ６．その他  （ない場合は「なし」と記載する） |

様式7

行政への貢献、賞、罰、兼業状況等、該当のある場合は記載する。

（氏名　埼　玉　太　郎　）

**その他の活動実績**

|  |
| --- |
| **１．学会活動（学会等の開催、役員歴、編集委員等）**  2016年12月　第○回○×学会　開催（○×ホテルにて）  2017年度～現在　○×学会　理事  2019年度～2022年度　○×学術会誌　編集委員  **２．論文の査読**  2022年度　○○誌　2件  **３．地域・行政への貢献**  2010年度～2017年度　○×機構 審査委員  2018年度　厚生労働省　医薬品医薬安全機構 調査委員  **４．受賞歴**  2020年度　日本○○学会 ○○奨励賞  **５．罰**  1997年より1998年 1年間 文部科学省科学研究費交付停止  **６．兼業状況（具体的に明記）**  ○×病院　週１回（半日）  ○×県教育委員会非常勤講師（○×県立○×高等学校）　月１回（半日）  **７．その他**  （ない場合は「なし」と記載する） |

様式8-1

**研究業績数一覧**

（氏名　埼　玉　太　郎　）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **区　　分** | | | **総　　数** | **最近4年間の数** | **備　　考** |
| **原著** | 筆 頭 | | （　　　） | （　　　） | （　　）内は**英文**の件数 |
| 共 著 | | （　　　） | （　　　） |
| 計 | | （　　　） | （　　　） |
| うち責任著者 | | （　　　） | （　　　） |
| **著書** | 単 著 | | （　　　） | （　　　） | （　　）内は**英文**の件数 |
| 分担 | 単 書 | （　　　） | （　　　） |
| 共 著 | （　　　） | （　　　） |
| 計 | | （　　　） | （　　　） |
| **総説** | 筆 頭 | | （　　　） | （　　　） | （　　）内は**英文**の件数 |
| その他 | | （　　　） | （　　　） |
| 計 | | （　　　） | （　　　） |
| **症例報告** | 筆 頭 | | （　　　） | （　　　） | （　　）内は**英文**の件数 |
| その他 | | （　　　） | （　　　） |
| 計 | | （　　　） | （　　　） |
| **その他** | 筆 頭 | | （　　　） | （　　　） | （　　）内は**英文**の件数 |
| その他 | | （　　　） | （　　　） |
| 計 | | （　　　） | （　　　） |
| **学会発表** | 演 者 | | （　　　） | （　　　） | （　　）内は**英文**の件数 |
| その他 | | （　　　） | （　　　） |
| 計 | | （　　　） | （　　　） |

＊「原著」は、ピアレビューを受けた研究結果を報告する論文（速報・短報を含む）とし、意見を述べただけの手紙形式の記事や、症例報告（事例報告）は含まない。

＊ピアレビューを受けていない論文（速報・短報を含む）は、「その他」に記すこと。

＊ピアレビューを受けた総説は、様式9-5で番号に○を付すこと。

様式8-2

**1）学位論文**（博士および修士）

* 著者名及び共著者名、論文題名、発表誌名　巻（号）：始頁～終頁、出版年（西暦）、の順で記載する。
* Thesisの場合、その旨を明記する。

**修士論文**（○○大学）

埼玉太郎：骨格筋組織における・・・・・・の研究. 2018

**博士論文**（○○大学）

Saitama T, Tokyo H, Ibaraki S: Establishment of ･････････ in vivo. Nature 3455 (123):678-680, 2022

　または

埼玉太郎：腎機能の・・・・・・・・・・・の樹立. 2022（Thesis）

様式8-3

研究業績目録は、その区分毎に英文・和文を別にし、直近のものから西暦順に番号を振って記入する。本人氏名にはアンダーラインをつける。なお、投稿中や投稿予定のものは含まない。

該当しないものは、「なし」と明記する。

**2）原著論文**（ピアレビューを受けた研究結果を報告する論文。速報・短報を含む。意見を述べた手紙形式の記事等は、「その他」（様式9-7）に記す。症例報告（事例報告）は様式9-6に記す。

* 各論文については、番号、著者名及び共著者名、論文題名、発表誌名　巻（号）：始頁～終頁、出版年（西暦）、の順で記載する。
* 英文と和文を分けて記載する。
* 論文の順序は、直近のものから古いものの順に番号を付し配置する。
* 研究業績を表す主要なもの10編の別刷を添付し、番号に○を付す。
* Corresponding authorである場合、番号に◎を付す。

**● 英文**

1. Tokyo H，Saitama T，Chiba J： Abnormal human･････to･････with lung Cancer. Cancer 69 (67):12-20,2022

◎2. Saitama T: Establishment of ･････････ in vivo. Nature 3455 (345):678-680, 2021

**● 和文**

◎１．埼玉太郎：○○○における○○○形態○○的研究．日本○○学会雑誌16 (2):51-63, 2022

○２．埼玉太郎，東京花子，千葉二郎：○○○についての○○○的研究　○○学12 (1):44-55, 2021

様式8-4

**3）著書**（翻訳は「その他」（様式9−7）に記載すること）

* 各論文については、番号、著者名及び共著者名、論文題名、発表誌名　巻（号）：始頁～終頁、出版年（西暦）、の順で記載する。
* 英文と和文を分けて記載する。
* 論文の順序は、直近のものから古いものの順に番号を付し配置する。

1. 埼玉太郎、東京花子：○○○病の指針.　第○章.　茨木四郎編, ○○○書院, 12-24, 2022

2. 埼玉太郎：○○○のための最新○○講座　○○○病の○○○療法, 群馬三郎編, ○○○出版, 208-215, 2021

様式8-5

**4）総説**

* 各論文については、番号、著者名及び共著者名、論文題名、発表誌名　巻（号）：始頁～終頁、出版年（西暦）、の順で記載する。
* 英文と和文を分けて記載する。
* 論文の順序は、直近のものから古いものの順に番号を付し配置する。
* ピアレビューを受けた総説は、番号に○を付す。

**● 英文**

○1. Saitama T，Chiba J： Abnormal human ････to･････with lung Cancer. Nature Reviews Cancer 690 (987):125-127,2022

○2. Saitama T: Recent topics in ･････････ lung cancer. Lancet 3455 (13):678-680, 2021

**● 和文**

1. 埼玉太郎：肺がん症例ににおける○○○治療の進歩. 日本○○学会雑誌126 (45):351-363, 2022

様式8-6

**5）症例報告（事例報告）**

* 各論文については、番号、著者名及び共著者名、論文題名、発表誌名　巻（号）：始頁～終頁、出版年（西暦）、の順で記載する。
* 英文と和文を分けて記載する。
* 論文の順序は、直近のものから古いものの順に番号を付し配置する。

*＊記載要領は原著論文と同じ*

様式8-7

**6）その他**（ピアレビューを受けない学術論文や依頼原稿、手紙形式の記事・意見等は、ここに記す。）

* 各論文については、番号、著者名及び共著者名、論文題名、発表誌名　巻（号）：始頁～終頁、出版年（西暦）、の順で記載する。
* 英文と和文を分けて記載する。
* 論文の順序は、直近のものから古いものの順に番号を付し配置する。

*＊記載要領は原著論文と同じ*

様式8-8

**7）学会発表**

* 国際学会と国内の学会を分けて記載する。
* 特別講演、シンポジウム、一般発表等を項目ごとに分け、発表者名及び共同発表者名、演題名、学会名 (正式名称で記載すること)、年月日、開催地を記載する。
* 記載の順序は、それぞれ直近のものから古いものの順に番号を付し配置する。
* 一般発表は代表的なものを20編程度とし、別に総数を明記する。

**特別講演**

**● 国際**

1. Saitama T, Chiba J, Ibaraki S: Normal signaling････. 25th International Conference････, 9.6.2022, Boston

● **国内**

1. 埼玉太郎：○○性○○病に対する○○○を用いた○術. 第29回日本○○学会, 2022.10.12, 神戸市

**シンポジウム**

**● 国際**

1. Saitama T, Chiba J: Normal signaling････. 55th International Conference････, 9.6.2022, San Francisco

● **国内**

1. 埼玉太郎：○○における○○の○○との役割．第35回日本○○学会学術総会, 2022.9.7, 札幌市

2. 神奈川花子, 埼玉太郎：○○における○○の○○との役割．第7回○○研究委員会, 2021.3.9, さいたま市

**一般演題**

**● 国際**

1. Saitama T, Chiba J: Pathological ････.:45th International ････, 10.7.2022, Houston

● **国内**

1. 埼玉太郎, 山梨三郎, 千葉二郎：○○疾患の○○における○○とその対策．第42回日本○○学会総会, 2020.12.14, 練馬区

2. 山梨三郎, 埼玉太郎, 千葉二郎, 茨城四郎：○○病に○○の１症例．第35回○○研究会関東支部会, 2013.5.1, 港区